第一興商

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
剰余金の配当受領株主確定日	期末配当金については3月31日 中間配当金については9月30日
単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人 及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (郵便物送付先 電話照会先)	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
証券・銘柄コード	7458

＜お知らせ＞

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関になっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のお知らせ

2013年9月30日最終の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様に保有株式数に応じて優待券を贈呈いたします。

所有株式数 ＼ 優待内容	年2回発行	
	優待券(*1)	CD交換(*2)
100株以上 1,000株未満	500円券×10枚	1枚
1,000株以上	500円券×25枚	2枚

(*1)当社が運営する「ビッグエコー」店舗、「楽蔵」「ウメ子の家」「びすとろ家」などの飲食店でご利用いただけます。
(*2)優待券全額と引き換えを条件に、アルバムCDと交換いただけます。

贈呈時期：2013年12月4日より送付開始
有効期間：2014年1月1日～2014年6月30日

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 7458

いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細　http://www.a2media.co.jp)※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」　TEL：03-5777-3900(平日 10:00～17:30)　MAIL：info@e-kabunushi.com

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC www.fsc.org FSC® C013080
UD FONT
VEGETABLE OIL INK

ECHO

Vol.36 第39期 決算のご報告(中間)
2013年4月1日～2013年9月30日

CONTENTS

株主の皆様へ
セグメント別概況
連結決算概要
クローズアップ　事業探訪
会社概要
株式の状況

第一興商
証券コード：7458

株主の皆様へ

代表取締役社長
林 三郎

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第39期中間期(2013年4月1日～2013年9月30日)の決算の状況を報告いたします。

当中間期において当社グループは、業務用カラオケのすべての市場に向け、顧客ニーズに応えられる商品ラインアップを万全に整え、営業活動を展開いたしました。

なかでも、新たな有力市場と位置付けて推進しているエルダー事業(高齢者向け事業)は、順調に推移しており、9月末現在で「DKエルダーシステム」を導入する施設数は1万2000ヵ所を超えております。

今後、総人口が減少しつつ高齢者比率が増加するというわが国の環境下において、このエルダー事業は極めて有望であるといえます。

また、「DKエルダーシステム」は、高齢者の健康維持や介護予防に効果があることが認められており、介護費用や医療費の低減が課題となっている地方自治体との連携を推進しております。

一方で、お子様からお年寄りまですべての方々にカラオケをご利用いただける環境を生み出したということでは、カラオケボックスの発展に触れずにはいられません。

当社グループの展開するカラオケルーム「ビッグエコー」は、おかげさまでこの9月に25周年を迎えました。

カラオケボックスの黎明期から、全国規模チェーンとして、その発展と進化に寄与できたのではないかと自負しております。

このように、カラオケは老若男女すべての方々に参加いただけるレジャーとなり、社会的地位を確立してきました。

今後はレジャー産業のみならず、健康産業の一翼も担っていけるよう、着実に社会に貢献する企業を目指してまいります。

今後も株主の皆様のご期待にお応えできるように全社一丸となって精進してまいります。引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、堅調な米国経済や円安による輸出の持ち直しに加えて消費が底堅く推移し、企業の好業績を反映して投資意欲が高まりました。一方で、円安・株高などを背景に上向いていた個人の景況感は、物価上昇による家計の負担増懸念など先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このようななか当社グループは、業務用カラオケ事業においては、各市場のニーズにきめ細かく対応する商品ラインアップを整え、全市場に向けたDAM拡販に注力いたしました。カラオケ・飲食店舗事業では、既存店舗の集客や顧客満足度向上に取り組むとともに、幅広い顧客層に対応するべく収益基盤の多様化と拡大に注力いたしました。音楽ソフト事業におきましては、話題の映画作品のサウンドトラックなどを発売いたしました。

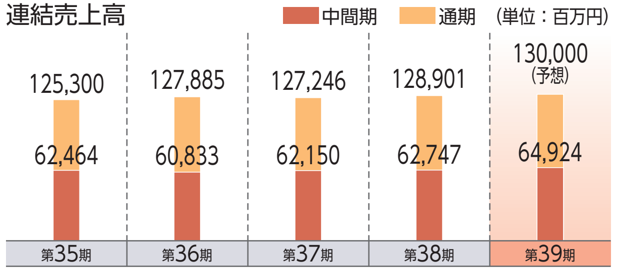
以上の結果、音楽ソフト事業とその他の事業が減収となったものの、業務用カラオケ事業とカラオケ・飲食店舗事業が増収となり、当中間期の売上高は64,924百万円(前年同期比3.5％増)となり、中間期における過去最高を更新いたしました。利益面におきましては、カラオケ・飲食店舗事業が減益となりましたが、業務用カラオケ事業と音楽ソフト事業、その他の事業が増益となり、営業利益は10,089百万円(同6.6％増)、経常利益は10,859百万円(同7.1％増)、中間純利益は6,167百万円(同4.3％増)となり、それぞれ中間期における過去最高を更新いたしました。

通期の見通し

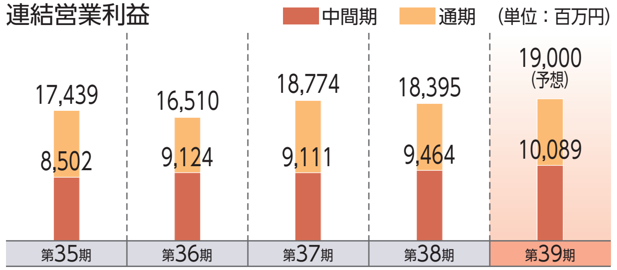
通期の見通しにつきましては、2013年8月5日に公表した業績予想を変更せず、売上高1,300億円、営業利益190億円、経常利益204億円、当期純利益120億円を見込んでおります。

連結財務ハイライト

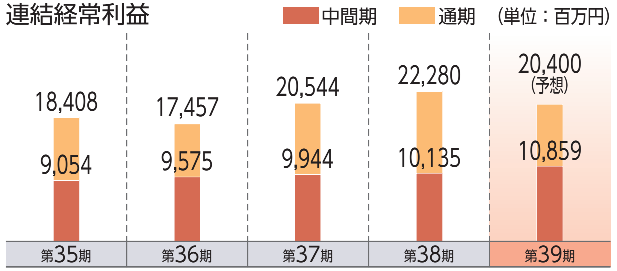
連結売上高



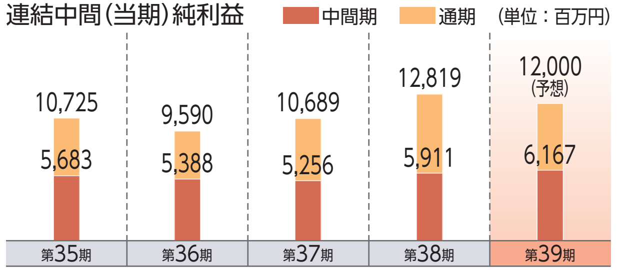
連結営業利益



連結経常利益

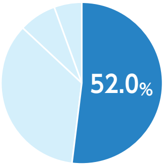


連結中間(当期)純利益



セグメント別概況

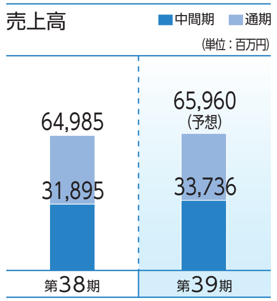
業務用カラオケ事業

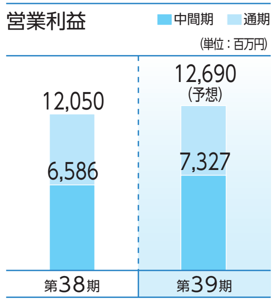


売上高	33,736百万円	（前年同期比 5.8%増）
営業利益	7,327百万円	（前年同期比 11.2%増）

当事業におきましては、主力市場であるデイ（カラオケルーム）およびナイト市場に対して、「LIVE DAM」シリーズとタブレット型ポータブル端末「SmartDAM」の連動企画として、人気アーティストを起用した採点コンテンツを投入し、機器の拡販に努めました。加えて、新規成長分野であるエルダー市場では、研修などによる営業体制の強化を図り、市場深耕を進めました。これによりDAM稼働台数および機器賃貸契約件数は順調に増加いたしました。

以上の結果、当中間期の売上高は、前年同期比5.8%増加の33,736百万円、営業利益につきましては、同11.2%増加の7,327百万円となりました。

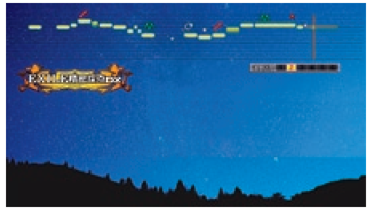




TOPICS（業務用カラオケ事業）

◆SmartDAM＋LIVE DAMシリーズ専用コンテンツとして精密採点DXに“EXILE”バージョンが登場

SmartDAM＋LIVE DAMシリーズ専用コンテンツとして、「見えるガイドメロディ」が特徴の「精密採点DX」にEXILEバージョンが登場いたしました（期間限定）。対象はEXILE全曲。採点後にはTAKAHIROやTHE SECOND from EXILEからのオリジナルメッセージが楽しめ、採点結果に応じて【初ザイル】から【エグザイル】まで6段階でランク付けし、認定証を発行いたします。



◆シンプルかつ、より使い易く進化したデンモクPM500zBを発売

- 新リモコンサテライトと運用することにより簡易無線によるデータ双方向通信を実現、ケーブルレスの運用が可能に
- 従来通りの360°リモコン機能
- よく使うジャンルボタンをトップメニューに配置
- 予約曲リストの確認が手元で可能
- 外国語検索機能の見直し

PM500zB

◆“EXILE”を起用したTV-CMを展開

「LIVE DAM」のメインコンテンツ「精密採点DX」を軸として“誰でも歌うま。”をコンセプトに設定、「SmartDAM」のイメージキャラクターに、老若男女を問わず幅広い世代に高い知名度があり、当社の2012年年間カラオケランキングと2013年上半期カラオケランキングのアーティスト部門で続けて第１位を獲得したEXILEを起用し、TV-CMを展開いたしました。

ボーカルTAKAHIROが想いを語る　「TAKAHIRO篇」

“SmartDAMの魅力”を聞かれたTHE SECOND from EXILEの5人がトークを繰り広げる　「THE SECOND篇」

◆中国でParty DAMを発売

Party DAM

当社の海外子会社である第一興商電子貿易（上海）有限公司（中国上海市）は、移動式一体型カラオケシステムの中国専用モデル「Party DAM（DAM-PD100C）」を10月21日に発売いたしました。当社がカラオケ機器本体を海外市場に投入する初のモデルとなります。

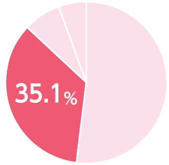
Party DAM（DAM-PD100C）は、どこでも手軽にカラオケを楽しめるオールインワン設計で、中国では業界初の移動式機器として非常に高い注目を浴びています。レストランやホテル、ショッピングモールのイベント広場、あるいは教育現場等あらゆる場所で利用されることを想定しております。

また、搭載される楽曲や背景映像は現地で制作し、中国市場に合わせた仕様としております。日本で人気の「精密採点」など、さまざまなコンテンツも備えており、カラオケの新しい楽しみ方を中国市場にも提案してまいります。

Party DAM（DAM-PD100C）

セグメント別概況

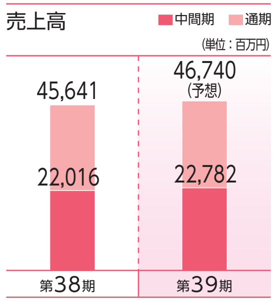
カラオケ・飲食店舗事業

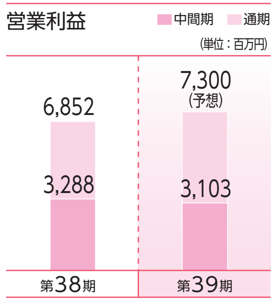


売　上　高	22,782 百万円	（前年同期比 3.5%増）
営業利益	3,103 百万円	（前年同期比 5.6%減）

　当事業におきましては、この9月に25周年を迎えたカラオケルーム「ビッグエコー」が、感謝キャンペーンを実施するとともに、引き続きマルチブランド展開やコンセプトルーム、コラボルーム企画などを実施いたしました。また、「ビッグエコー」と飲食店舗のシナジーを活かした複合出店戦略の推進と機動的な飲食店舗のブランド変更などにより、高収益店舗の構築に注力いたしました。

　以上の結果、当中間期の売上高は、前年同期比3.5％増加の22,782百万円、営業利益につきましては、同5.6％減少の3,103百万円となりました。





ＴＯＰＩＣＳ（カラオケ・飲食店舗事業）

ビッグエコー

◆話題のコラボレーションルームに「SID（シド）」が登場

　「EXILE」や「BOØWY」、「くまモン」など（一部は終了）に続き、以前展開し大変人気の高かった「BIG BANG」、「初音ミク」ルームが、ご要望にお応えして新しいルームデザインとなって再登場。また、新たに今年結成10周年を迎えた人気ロックバンド「SID」とのコラボレーションルームも展開しております。

BIGBANGルーム

渋谷宮益坂口駅前店、有楽町店、名古屋太閤通口店、梅田中央店、梅田北新地第3ビル前店、針中野駅前店
期間：2013年11月16日～2014年3月31日（予定）

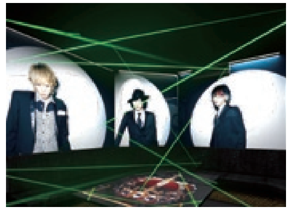
初音ミクルーム

秋葉原駅前店、藤沢駅前店
期間：2013年11月22日～2014年2月28日（予定）

SIDルーム

渋谷駅前店
期間：2013年9月27日～2014年1月31日（予定）
千日前アムザ店
期間：2013年10月18日～2014年1月31日（予定）

BIGBANGルーム（イメージ）


SIDルーム

◆ビッグエコーはおかげさまで25周年

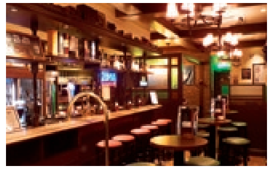
　カラオケルーム「ビッグエコー」は、9月14日に25周年を迎えました。これに伴い、25周年を記念して、誕生日である9月14日から9月16日までの3日間、“誕生感謝祭”（期間中、1988年9月14日生まれの方・9月14日生まれの方・1988年生まれの方とお連れ様を対象とした室料無料や割引といった特別優待）を実施いたしました。

＊関連内容を12P「クローズアップ 事業探訪」に掲載しております。

飲食店舗

◆アイリッシュ＆スポーツバーCELTS（ケルツ）が好調

　CELTSは、ハイネケンやギネスなど各国のビールや50種以上のカクテル、アイルランドのお酒やビールに合うメニューを豊富に取り揃えた気軽に行けるアイリッシュパブ。ビッグエコーやダイニング業態との併設店舗も多く、カラオケに行く前後のちょっと1杯という時にはもちろん、2次会利用や各種イベントにもおすすめです。スポーツイベント時は、大型モニターで店内一体となって盛り上がれる空間としてご活用いただけます。また、その地域に所属するプロサッカークラブチームとオフィシャル契約を結び、地域に根付いた活動も行っております。



アイリッシュ＆スポーツバーCELTS店舗一覧

[栃木県]
宇都宮池上店
栃木県宇都宮市池上町3-11 丸井ビル1F
☎028-614-4747

[東京都]
品川港南口店
東京都港区港南2-5-14 カナーレ品川1F
☎03-5781-7322
八重洲店
東京都中央区日本橋3-2-17 日伸ビル1F
☎03-5205-3801
神田小川町店
東京都千代田区神田小川町2-2-6 損保ジャパン神田小川町ビル
☎03-5217-0055
蒲田南口駅前店
東京都大田区蒲田5-13-31 ALハウス蒲田内
☎03-5714-4177
大崎ThinkPark店
東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark2F
☎03-5436-2855

[神奈川県]
平塚店
神奈川県平塚市紅谷町10-8 1F
☎0463-24-0555
※プロサッカーチーム「湘南ベルマーレ」と提携
横浜関内店
神奈川県横浜市中区真砂町4-39 磯部真砂町ビル
☎045-680-4177
京急川崎駅前店
神奈川県川崎市川崎区駅前本町15-13 養老乃瀧川崎ビル2F
☎044-221-3155
小田原店
神奈川県小田原市栄町1-2-11
☎0465-22-8055

[長野県]
松本駅前店
長野県松本市中央1-5-1
☎0263-31-8055
※プロサッカーチーム「松本山雅FC」と提携

[大阪府]
大阪本町店
大阪府大阪市中央区安土町3-4-5 本丸田ビル1F
☎06-4964-1818
梅田桜橋店
大阪府大阪市北区曽根崎新地1-4-17 DK.USビル
☎06-6442-1055

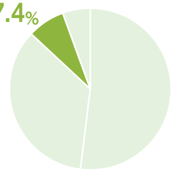
[福岡県]
西中洲店
福岡県福岡市中央区春吉3-11-12 1F
☎092-737-5000
※プロサッカーチーム「アビスパ福岡」と提携

[熊本県]
熊本下通り店
熊本県熊本市中央区下通1-4-15 1F
☎096-355-0002
※プロサッカーチーム「ロアッソ熊本」と提携

（2013年11月現在）

セグメント別概況

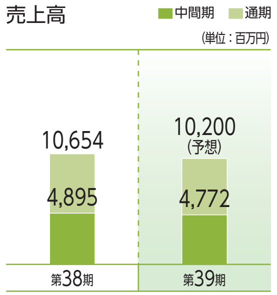
音楽ソフト事業

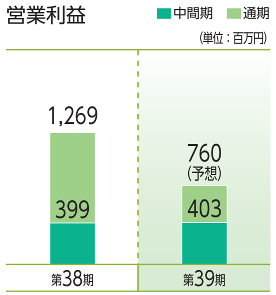


売上高	4,772百万円	(前年同期比 2.5%減)
営業利益	403百万円	(前年同期比 1.1%増)

当事業におきましては、「北島三郎」や「水森かおり」など安定した演歌作品に加えて、「ソナーポケット」など若手J-POP系作品や話題のスタジオジブリ映画「風立ちぬ」のサウンドトラック、有力アーティストのベストアルバムやトリビュートアルバムが収益に貢献いたしました。

以上の結果、当中間期の売上高は、前年同期比2.5%減少の4,772百万円、営業利益につきましては、同1.1%増加の403百万円となりました。





TOPICS（音楽ソフト事業）

話題のアーティストをご紹介します。

◆POPS

Yun*chi NIPPON CROWN Co.,Ltd.

2013年11月13日発売の1stシングル「Your song*」がアニメ「ログ・ホライズン」のエンディング・テーマとなり、デビューミニアルバム「Yun*chi」は第3回ミュージック・ジャケット大賞2013を受賞。7月にロンドンにて開催された「HYPER JAPAN 2013」に出演し、海外からも高く注目されています。

ソナーポケット TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS

オリコンウィークリーチャート2位を獲得した2013年2月リリースの4thアルバムに続き、9月リリースのデビュー5周年記念ベストアルバムも第3位を獲得しました。11月末開催の代々木第一体育館アリーナ2デイズ公演も早々にソールドアウトとなるなど、"ラブソングマスター"としてJ-POPシーンに不動のポジションを築きつつあります。11月27日にニューシングルを発売。

◆演歌・歌謡曲

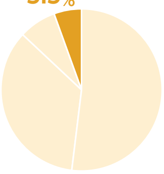
北島 三郎 NIPPON CROWN Co.,Ltd.

2013年10月に満77歳の喜寿を迎え、それでもなお"芸の道"を歩み続けている北島三郎。年末に放送される「NHK紅白歌合戦」も出場回数49回を数え、前人未到の記録を伸ばし続けています。2014年1月1日には新曲の発売も予定しており、オリコン演歌チャート第1位における最高年齢記録の更新を目指します。

水森 かおり TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS

2013年4月発売のシングル「伊勢めぐり」がロングヒット中。9月には"歌"で旅するアルバム第12弾「歌謡紀行12～伊勢めぐり～」を発売しました。民放各局のバラエティーやトーク番組にも多数出演し、注目を集めています。11月27日にはビデオクリップ集 DVD「水森かおりシングルコレクション2」を発売。

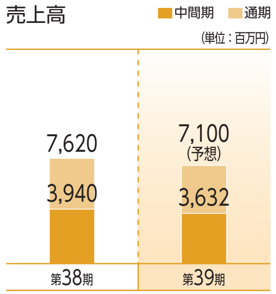
その他の事業

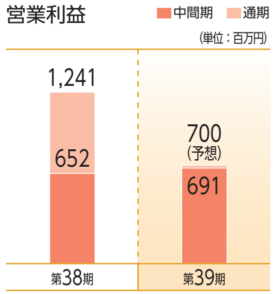


売上高	3,632百万円	(前年同期比 7.8%減)
営業利益	691百万円	(前年同期比 6.0%増)

当事業におきましては、7月より、光回線を活用したBGM放送「スターデジオ光」のサービスを開始いたしました。携帯電話向けコンテンツサービスにおいては、コストの低減に努めました。

以上の結果、当中間期の売上高は、前年同期比7.8%減少の3,632百万円、営業利益につきましては、同6.0%増加の691百万円となりました。





TOPICS（その他の事業）

業務用BGMサービス スターデジオ光スタート！

スターデジオ光 トコトン、オンガク。

2013年7月1日よりNTTのフレッツ光をインフラとする有線ラジオ放送「スターデジオ光」の提供を新たにスタートいたしました。

従来、業務用BGM放送サービスとして衛星（CS）放送をインフラとした業務用BGM/BGVサービス「スターダム」を提供してまいりましたが、昨今では、通信カラオケ機器設置店舗の通信環境も光回線化が進んでおり、BGM導入を併せて検討される店舗においては、「スターデジオ光」は効率的に導入できるBGMサービスとなります。商業施設やオフィスなど光回線化が進む業務用市場へのサービス提供も行い、今後は、「スターデジオ光」・「スターダム」の両ラインアップで店舗やオフィスの雰囲気に合うBGMを提供してまいります。

連結決算概要

▶ 詳細な財務情報は、当社　ホームページ「株主・投資家情報」http://www.dkkaraoke.co.jp/stockinfo/をご覧ください。

■連結貸借対照表の要旨（中間）

（単位：百万円）

科目	第38期 2013年3月31日現在	第39期中間 2013年9月30日現在
資産の部		
流動資産	62,365	62,606
固定資産	97,113	98,164
有形固定資産	54,484	55,706
無形固定資産	6,361	6,162
投資その他の資産	36,268	36,295
資産合計	159,479	160,771
負債の部		
流動負債	27,384	25,258
固定負債	31,780	31,584
負債合計	59,164	56,842
純資産の部		
株主資本	96,490	100,567
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	6,026	6,026
利益剰余金	78,119	82,196
自己株式	△ 5	△ 5
その他の包括利益累計額	2,768	2,254
その他有価証券評価差額金	3,646	3,034
土地再評価差額金	△ 777	△ 777
為替換算調整勘定	△ 100	△ 1
少数株主持分	1,056	1,106
純資産合計	100,315	103,928
負債及び純資産合計	159,479	160,771

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

<注記事項>	第38期	第39期中間
1. 保証債務	60百万円	36百万円
2. 1株当たり純資産額	1,662円00銭	1,721円68銭

POINT

●流動資産

流動資産の増加240百万円は、その他に含まれる前払費用の増加1,196百万円、現金及び預金の増加825百万円、受取手形及び売掛金の減少1,842百万円が主なものであります。

●固定資産

固定資産の増加1,050百万円は、土地の増加1,609百万円、カラオケ賃貸機器の増加1,021百万円、投資有価証券の減少984百万円が主なものであります。

●流動負債

流動負債の減少2,125百万円は、賞与引当金の増加444百万円、支払手形及び買掛金の増加295百万円、その他に含まれる未払金の減少2,935百万円が主なものであります。

●固定負債

固定負債の減少195百万円は、退職給付引当金の増加219百万円、長期借入金の減少604百万円が主なものであります。

■連結損益計算書の要旨（中間）

（単位：百万円）

科目	第38期中間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	第39期中間 2013年4月1日から 2013年9月30日まで
売上高	62,747	64,924
売上原価	36,620	37,522
売上総利益	26,127	27,402
販売費及び一般管理費	16,663	17,312
営業利益	9,464	10,089
営業外収益	973	1,203
営業外費用	302	433
経常利益	10,135	10,859
特別利益	31	3
特別損失	162	202
税金等調整前中間純利益	10,004	10,660
法人税、住民税及び事業税	4,073	4,765
法人税等調整額	△ 22	△ 325
少数株主損益調整前中間純利益	5,952	6,220
少数株主利益	40	52
中間純利益	5,911	6,167

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

<注記事項>	第38期中間	第39期中間
1株当たり中間純利益	94円77銭	103円27銭

POINT

●売上高

音楽ソフト事業とその他の事業が減収となったものの、業務用カラオケ事業とカラオケ・飲食店舗事業が増収となったことから、前年同期比3.5％増加の64,924百万円となり、中間期における過去最高を更新いたしました。

●営業利益・経常利益

カラオケ・飲食店舗事業が減益となりましたが、業務用カラオケ事業と音楽ソフト事業、その他の事業が増益となったことから、営業利益は前年同期比6.6％増加の10,089百万円、経常利益は同7.1％増加の10,859百万円となり、それぞれ中間期における過去最高を更新いたしました。

●中間純利益

営業利益・経常利益の増加に伴い前年同期比4.3％増加の6,167百万円となり、過去最高を更新いたしました。

■連結キャッシュ・フロー計算書の要旨（中間）

（単位：百万円）

科目	第38期中間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	第39期中間 2013年4月1日から 2013年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,965	12,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,311	△ 9,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,821	△ 2,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 27	△ 24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,447	1,108
現金及び現金同等物の期首残高	34,367	41,963
現金及び現金同等物の中間期末残高	43,814	43,071

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

●営業活動によるキャッシュ・フロー

- 税金等調整前中間純利益　10,660百万円
- 減価償却実施額　6,293百万円
- 仕入債務の増加額　273百万円

●投資活動によるキャッシュ・フロー

- 有形固定資産の取得による支出　6,214百万円
- 無形固定資産の取得による支出　1,689百万円
- 映像使用許諾権の取得による支出　1,000百万円

●財務活動によるキャッシュ・フロー

- 長期借入れによる収入　1,260百万円
- 長期借入金の返済による支出　1,726百万円
- 配当金の支払額　2,090百万円

国連より、アンワルル K.チャウドリー大使(元国連事務次長)来社

～国連上級職員や各国政府代表たちは、“カラオケ”の効用について感銘を受けている～

2013年8月14日、国連より、アンワルル K.チャウドリー大使が第一興商本社を訪れ、林社長と会談いたしました。

チャウドリー大使からは、東日本大震災の被災地支援活動継続*への感謝の辞とともに、「昨年の報告会**において、国連上級職員や各国政府代表たちは、“カラオケ”の効用について感銘を受けました。カラオケは、**災害後の心的ケア**、**高齢者の身体的・心理的な助力**、**障害者に対する活用**、**“文化の多様性”の問題解決**と4つの分野で貢献できる素養があり、国連の目的を達成するに大変有力なツールであると確信しています。世界では、カラオケについては未だ娯楽のひとつという概念でしか認識されていません。改めてカラオケの素晴らしさを世界に広めるために、ぜひまたニューヨークの国連本部においてカラオケの可能性を示すイベントを実現するべきだと考えています」という趣旨の発言をいただき、林社長からも、「それはとてもありがたいお話です。日本でもカラオケは娯楽という位置付けでしたが、日本発祥の文化として発展させた功績を認められ、当社の創業者が本年日本政府より叙勲を受けました。ここまでの道のりは決して平坦ではありませんでしたが、日本発祥の文化が世界の平和構築に貢献できるように、事業の功績を挙げることはもちろんながら、社会に対する責務とカラオケの社会的意義を高めたいと思います」と応えさせていただきました。

なお、会談の中で触れられていた、カラオケの高齢者に対する効用を具現化するべく展開中の「DKエルダーシステム」は、この9月までに全国のデイケアセンターなど約1万2000施設への導入を行っております。

Friends of the United Nations Asia-Pacific

うたで応援しよう Sing for Smile プロジェクト 第一興商

左:林社長　右:チャウドリー大使

*当社は、東日本大震災の被災者に対する支援活動として、2012年1月21日より国連の友が展開する“Friends of the United Nations Sing for Smile Program”に協力し、カラオケカーを被災地の仮設住宅に派遣し、医療団による巡回医療活動をサポートしています。震災から2年半が経過した現在、継続的支援が激減している被災地においては、笑顔と歌声が流れる時間が、絶望を乗り越えて生活する方々の励みとなっています。復興に時間がかかり娯楽に乏しい被災地においては、カラオケカーで歌うことで住民同士のコミュニティづくりやストレス発散に大いに役立っていると喜びの声が上がっています。この活動は、岩手県の陸前高田市と大船渡市で行っておりますが、仮設住宅暮らしを強いられている住民の皆様の心のケアに効果がある活動として、両市より高い評価をいただいております。

**林社長は、2012年5月16日(NY時間)に、NY国連本部において、世界で初の試みとなった“カラオケカーが帯同した巡回医療活動”を含めた自然災害後の心のケア、人道支援の重要性と被災地での評価に関する報告会「Post Disaster Management Ceremony at the United Nations Headquarters」に招待を受け参加。国連本部・本会議場において、林社長がノエル J.ブラウン博士より感謝状を受けとるとともに、特設デリゲーションルームにおいて“Friends of the United Nations Sing for Smile Program”におけるカラオケカーの活動報告を行いました。

専務取締役兼上席執行役員
店舗事業本部長 **根本 賢一**

Karaoke Entertainment BIG ECHO

1988➡2013

ビッグエコーは、おかげさまで25周年 これからも、たくさんの笑顔に出会うために

ビッグエコーは、1988年9月14日に福岡・二又瀬に1号店をオープンし、初の全国チェーンとして、4年間で263店舗と急拡大をいたしました。その後のスクラップ&ビルドを経て、25周年を迎えた2013年現在は、約340店舗を展開しております。

この25年間は、カラオケボックス事業全体の発展と進化に取り組んでまいりました。コンテナ型の時代からビルイン型へ、そして飲食店舗との複合出店、マルチブランド化など、店舗形態の開発やサービスの充実、お客様ニーズへの迅速な対応などを心がけてまいりました。

現在のカラオケボックスは、お子様からお年寄りまで、すべての方々が楽しむことのできる国民的エンターテインメントとして、認知されてきたのではないかと感じております。

さらにビッグエコーでは、お客様との出会いを大切にし、“音響”・“清掃”・“施設管理”などすべての面で満足してご利用いただけること、そして笑顔になっていただけることを目指しております。

各ルームを見て回ると、歌っている人たちの素晴らしい笑顔に出会うことができます。このように、皆で同じ時間を共有して、ここまで笑顔になれる空間は他にはないのではないでしょうか。

ビッグエコーでは、これからも、この素晴らしいエンターテインメントを提供し続けるべく、飲食店舗との複合出店の進化成長、FC店舗も含めた多ブランド化など、さらなる発展と拡大をしてまいります。

ぜひ、ご期待ください。

お客様のニーズに応えるコンセプトルーム

ビッグエコー1号店(福岡・二又瀬店)

飲食店舗との複合店(京都駅前店)

ご来店をお待ちしています

会社概要 (2013年9月30日現在)

会社概要

商　　　号	株式会社　第一興商 (英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.
所　在　地	〒141-8701東京都品川区北品川5-5-26 電話 (03) 3280-2151 (大代表)
設　　　立	1973年4月16日
資　本　金	12,350百万円
従 業 員 数	当　　社　1,550名 グループ　3,061名
JASDAQ上場	1995年9月19日

役員

名誉会長		保志忠彦
代表取締役社長		林　三郎
専務取締役	兼上席執行役員	根本賢一
専務取締役	兼上席執行役員	熊谷達也
専務取締役	兼上席執行役員	三富　洋
常務取締役	兼上席執行役員	保志忠郊
常務取締役	兼上席執行役員	村井裕一
常務取締役	兼上席執行役員	和田康孝
取締役	兼執行役員	渡邊泰人
取締役	兼執行役員	三宅　彰
取締役	兼執行役員	竹花則幸
取締役		吉川　満
取締役		清水義美
常勤監査役(社外)		石坂文人
常勤監査役(社外)		大塚信明
常勤監査役		髙瀬信行
監査役(社外)		有近真澄
	執行役員	小椋久広
	執行役員	吉澤明人
	執行役員	小林成樹
	執行役員	國津　洋
	執行役員	大塚賢治
	執行役員	小田切一央

第一興商グループ
当社及び連結子会社 **37社**

主な事業内容
業務用カラオケ事業
カラオケ・飲食店舗事業
音楽ソフト事業

国内販売子会社　24社

(株)北海道第一興商　(株)城北第一興商　(株)東海第一興商
(株)東北海道第一興商　(株)台東第一興商　(株)北陸第一興商
(株)北東北第一興商　(株)城東第一興商　(株)京都第一興商
(株)東北第一興商　(株)城西第一興商　(株)第一興商近畿
(株)常磐第一興商　(株)湘南第一興商　(株)京阪第一興商
(株)群馬第一興商　(株)新潟第一興商　(株)兵庫第一興商
(株)栃木第一興商　(株)長野第一興商　(株)九州第一興商
(株)埼玉第一興商　(株)静岡第一興商　(株)沖縄第一興商

その他国内子会社　10社

(株)ディーケーファイナンス　(株)デイーケー音楽出版
日本クラウン(株)　(株)クラウンミュージック
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ　(株)ズームリパブリック
クラウン徳間ミュージック販売(株)　ユニオン映画(株)
(株)トライエム　丸萩洋酒工業(株)

海外子会社　3社

(株)韓国第一興商　第一興商電子貿易(上海)有限公司
第一興商(上海)電子有限公司

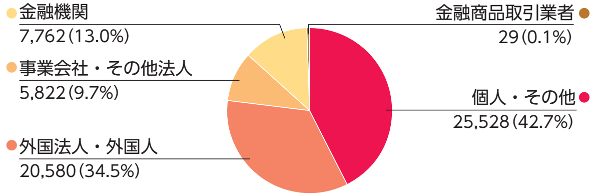
株式の状況 (2013年9月30日現在)

■ **発行可能株式総数**　200,000,000 株
■ **発行済株式の総数**　59,725,000 株
■ **株主数**　16,448 名
■ **大株主**

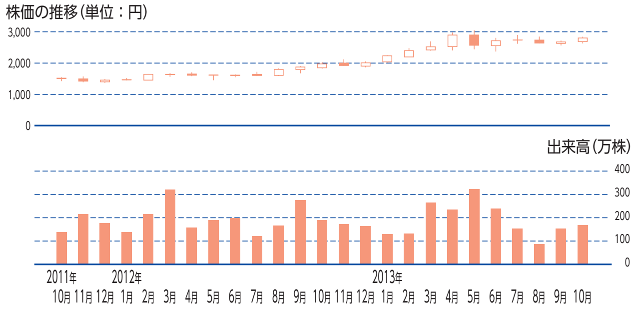
株主名	持株数(千株)	所有割合(%)
保志忠郊	6,846	11.5
保志治紀	6,719	11.3
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	4,693	7.9
(有)ホシ・クリエート	2,449	4.1
アサヒビール(株)	2,120	3.5
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,804	3.0
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,456	2.4
ザチェースマンハッタンバンクエヌエイロンドンエスエルオムニバスアカウント	1,279	2.1
三菱UFJ信託銀行(株)	1,148	1.9
第一生命保険(株)	900	1.5

(注) 1. 当社は2,714株の自己株式を保有しております。
2. 持株数、所有割合は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■ **所有者別株式分布** (単位:千株／構成比)



■ **株価(月足)チャート**



ホームページのご案内

投資家の皆様に役立つ情報やビッグエコーの最新情報、DAM★とも情報などを掲載しております。
ぜひアクセスしてください。

URL **http://www.dkkaraoke.co.jp/**

トップページ

ビッグエコー

http://big-echo.jp/

DAM★とも

http://www.clubdam.com/damtomo/

上記画面は2013年10月末現在